

上信電鉄踏切事故について

事故概要

令和6年4月6日、上信線馬庭駅まにわ～西山名駅にしやまな間の天水踏切道てんすい（第4種）において、踏切道内に進入した児童が列車と衝突し、当該児童の死亡が確認された。



事故発生後の国土交通省の対応

事故発生翌日の4月7日に運輸安全委員会の調査官等を派遣し、事故の現地調査を実施した。また4月17日に、群馬県などの関係自治体、鉄道事業者、関東運輸局、関東地方整備局等からなる協議会を開催し、事故の概要を共有するとともに、群馬県内の第4種踏切の統廃合及び第1種踏切化を促進するための検討を実施した。

引き続き、第4種踏切の統廃合及び第1種踏切化の促進も含め、踏切の安全対策について着実に進める予定。